

新型  
コロナ

# 検査・医療体制、経営守る対策の強化を

## 大震災10年一すべての被災者の生活再建と生業再生を

### 県民の命とくらしを守る新たな県政めざして 達増知事に来年度予算に関する申し入れ

12月11日、日本共産党岩手県委員会と県議団は達増拓也知事に  
対し「2021年度岩手県予算に  
関する申し入れ」を行いました。

申し入れは「新型コロナウイルス感  
染拡大の第3波到来を直視し、『検査・  
保護・追跡』の抜本的強化とくらし  
と経営守る対策の強化」「東日  
本大震災津波、台風19号、20  
16年台風10号災害からの復  
興」「県民の命と暮らしを守る新  
たな県政をめざして」の三部構  
成です。

菅原県委員長は、新型コロナウイルス対  
応で、知事や医療関係者等の献身  
的な取り組みに敬意と感謝を述  
べ、「県民の命とくらしを守る県政  
のさらなる前進を」と述べました。

#### 2021年度岩手県予算に関する申し入れの主な内容

- ◇県としてPCR等検査の抜本的強化に取り組むこと
- ◇安心して必要な医療が受けられる医療体制の強化を
- ◇保健所体制を抜本的に強化し、トレーサーの養成・配置  
に取り組むこと
- ◇「県版持続化給付金」の創設などの事業者支援、地域経済  
を守る対策を強化すること
- ◇少人数学級の実現と学校での安全確保を
- ◇50戸以上の災害公営住宅の集会所に支援員を配置し、コ  
ミュニティの形成確立に特別の対策を講じること
- ◇主要魚種の大不漁と原材料費の高騰に対する緊急対策を



達増知事(左から3人目)に申し入れる(右から)吉田恭子衆院1区予定候補、高田県議、菅原県委員長、斉藤県議、千田県議(12月11日)

齊藤県議は、コロナ対策では、  
国に検査と医療体制の抜本的な  
拡充や「Go Toトラ  
ベル事業」の中止・  
見直しを迫るべき  
だと強調。県が病院  
や高齢者施設での  
PCR検査を徹底  
し、民間病院へも危  
険手当を支給する  
とともに、保健所体  
制を強化すべきと  
提起しました。事業  
者支援でも、再度の  
家賃支援とともに、  
「県版持続化給付  
金」の創設を求めま  
した。



本会議で議案質疑に立つ斉藤県議(12月3日)

被災者の医療費等の免除継続  
について、達増知事は市町村との  
協議を踏まえて3月末までは現  
行通り継続実施し、4月から12  
月末までは、非課税世帯に限定し  
て継続実施することを明らかに  
しました。非課税世帯の割合は、

### 12月県議 被災者の医療費免除を継続 事業者の家賃支援を再び実施(1~3月)

12月定例会県議会(11月25日  
〜12月8日)では、千田美津子県  
議が一般質問に立つとともに、斉  
藤県議が議案に対する質疑に立  
ちました。

達増知事は「コロナ対策では保健  
所体制や医療体制の強化に取り組  
んでいく。復興の課題では、心のケ  
アやコミュニティ形成のところで  
まだまだ支援が必要だし、生業の再  
生にもしっかりと対応しなければな  
らない」と答えました。

国保では42.2%、後期高齢者医  
療では76%、計56.3%となっ  
ています。被災者の切実な願いに  
こたえる重要な成果であり、全国  
に誇れる取り組みです。また10  
年連続で被災地福祉灯油も実施  
されることになりました。

新型コロナウイルス対策では、県独自の  
家賃補助(月10万円上限・3ヶ  
月を、月3割以上の売り上げ減  
少の事業者を対象に条件を緩和  
し、1~3月に再度実施されるこ  
とになりました。インフルエンザ  
と新型コロナウイルスの同時検査体制は、  
11月末で9医療圏212医療機  
関の指定が完了しましたが、医療  
圏ごとにアンバランスがあり、改  
善・拡充を求めました。

女川原発の再稼働について達  
増知事は「宮城県民の7割以上が  
反対しており、地元の方々の理解  
を求める努力が引き続き行われ  
るべき」と答弁。福島原発事故の  
汚染水処理についても「海洋放出

### 住みよい盛岡めざして

日本共産党

5人の市議団と力を合わせて頑張ります



庄子春治



高橋和夫



神部伸也



鈴木努



三田村亜美子

県民と心ひとつに  
日本共産党  
斉藤 信の  
県政報告

2021年1月 No. 173

発行: 日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241  
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050  
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信のホームページ

<http://www.saito-shin.sakura.ne.jp/>

は漁業関係団体が風評被害への懸  
念から反対意見を表明しており、理  
解が得られないような形で進めて  
はならない」と答えました。

